

クマの出没、22日に藤島地内から三川へ 鶴岡管内は5月25日現在37件

5月22日午前から午後にかけて、藤島地域内でクマの目撃があり、市のHPに移動経過が掲載されました(左表)。

もし、クマと出会ったらどうすればいいか。クマは臆病な性格で、自分が逃げる時間をかせぐために攻撃する。クマが威嚇や攻撃するとき、姿勢は立った状態になり、上半身が狙われ、顔面が攻撃さ

る。攻撃を防ぐため、下のよう防御姿勢をとり、クマが去るのを待っています。

防御姿勢をとる

住宅街では、こりす保育園や、藤島小学校付近など、子どもに危険が及ぶ心配もあり、藤の花荘では、自動ドアで玄関が空けば入室される恐れがあり、自動ドアは要注意です。鶴岡管内の今年に入ってからクマの出没状況は、4月8日から始まり、5月25日現在

小熊でも立ち上がれば大きい(鶴岡市鳥獣被害対策推進員・小野寺レイナさん 3/13)



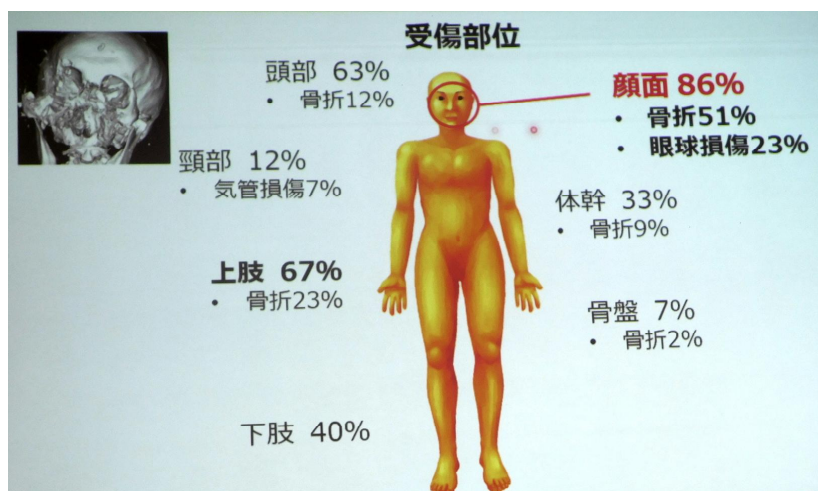
5月22日(金曜) 鶴岡市羽黒・藤島地域でクマの目撃がありました。

クマの移動経過は次のとおりです。

【経過】

- 9:30 頃 羽黒町坂ノ下でクマを目撃
- 9:40 頃 藤島東堀越に移動
- 14:20 頃 蛸井興屋に移動
- 14:50 頃 大川渡に移動
- 16:30 頃 藤の花二丁目に移動
- 16:50 頃 藤島小学校付近で目撃
- 17:32 頃 下平形に移動
- 17:46 頃 三川町横山地内に移動
- 18:00 頃 三川町菱沼字木ノ下に移動
- 18:10 頃 三川町なの花温泉田田付近で目撃
- 18:15 頃 三川町なの花温泉田田付近の交差点に移動
- 18:45 頃 三川町なの花荘付近の藪に移動

(市HP：藤島地域でのクマ出没について(令和8年5月22日))



渡前小子ども獅子踊り今昔物語

藁(わら)文化の里③

渡前獅子踊り保存会 太田 功

オーストラリアにある赤く染まる一枚岩、エアーズロックは地球のへそと呼ばれる。

文の推敲のため諸情報を紐解くまで、てっぺり世界最大と勘違いしていたが、実は同国にさらに高さで2・5倍のマウント・オーガスタスという一枚岩があり、こちらが最大となるとのこと。先の一枚岩だけでも高館山と羽黒山の間位の高さとなる。

北海道のへそは富良野と記憶があるが、日本のまん中は、兵庫県西脇市が昭和52年に「日本のへそ宣言」をしている。

そうかと思えば群馬県渋川市では日本列島のほぼ中心ということ

近くに、かつてやぎ牧場と称された緑地がある。

で「へそのまち」として取り組み、上半身に顔を描き、へそ踊りパレードまで行っている。どちらも初めて知った。さて、渡前のスタンレー電気(株)鶴岡製作所鶴岡工場西側の交差点

有志によりマリゴールドやベゴニアを植栽する緑化整備は今も継続され、その会社も緑化整備に支援するなど、地域で支えた場所に2・5m程の石が立つ(写真)。



城貞(藤の花)

景物

其一

春夏秋冬改序行

感傷風色是平生

今来無数丹青手

景物六情画不成

景物

其一

春 夏 秋 冬 序改まり行く

風色に感傷する是 平生

今来 無数の丹青の手

景物の六情 画くとも成らず

春夏秋冬と季節が移り、自然の景色を見て、悲しみを感じるのが 私のつれづねの心である。今まで、数限りない画家はいたけれど、四季それぞれの風景は描くことが出来ても それに誘発される人の六情(喜怒哀楽愛悪)の気持ちまで描くことはできないだろう。

景物||春夏秋冬それぞれのながめ。

序改||季節が変わる。

感傷||物事に感じて心を痛めること。

風色||けしき。平生||つれづね。

今来||今まで。無数||数かぎりない多くの。

丹青手||画家。丹青はあかとあおで、絵の具。

六情||六つの感情のことで、喜怒哀楽愛悪をさす。

画不成||描けない。



庄内のへそとして、その中心を定め、石に経緯度と「日本藁文化の郷」と刻み、合わせて交通安全の祈願碑として、平成10年10月10日設置したことがうかがい知れる。

文字は千葉大学工学部宮崎清研究室に在籍する書家、仲田翔華さんの書によるものだ。子ども獅子踊の誕生以前から、教授と親交のあった小野寺勇治氏が、頼み込んだのだろうと察しが付く。

その前の年、平成9年はサッカーワールド



国力アップも外交で

国力研究会なるものが自民党議員の8割が結集して発足したとのこと。高市首相の政策を実現させるためのものだとか、逆にその力が弱いからのものだからあつたが、自民党の劣化だという新聞も。

▲さて、「国力とは何や」だが、広辞苑には「経済力」と出ている。だとしたら彼ら国会議員しかも政権を持っている人らが何を今さら研究するといふの?となるが。

▲俺が国力として考える第一は、「少子化克服」だな。いつの時代も子どもは宝だ。人口を増やすためには、賃金を上げて景気を良くする。そのためには、働かせすぎで税金払っても溜まりに溜まっている内部留保を社会に回す。

▲政権党にこれほど議員がいる今だ。彼らが

カップフランス大会の前年あたり、日本文化を紹介する絶好のイベントがあつて、藁工芸部会是最強の布陣として加藤喜一氏、小関鉄雄氏、小野寺勇治氏の各名人を選抜、フランスの南西部の村に現地入りさせた。

梓4人に欠員が生じ、部会の事務局でも名人でもない役場きつての海外通の武田壮一氏が抜擢された。現地「へそおどり」を見たかどうかは...

(つづく)

その気になれば、そのための法律はすぐにも出来るんだ。そしたら幼稚園・保育園・小中の先生の増え、世の中賑やかに。となれば、ドルに対して円が高くなり物価が下がるから暮らしやすくなる。

▲しかし、先日耳に挟んで驚いたのが、「経戦能力」という言葉だ。つまり戦争が始まったら、弾や燃料が無くなつたじゃ困るという事。前の戦は、兵は送つても食料が送れなかったもので、名誉の戦死も餓え死にが多かつたと言われている。

▲高市首相の政策を実現させるとなれば、そういう事も研究か。しかしそんな時のために、民間で兵器作りが足りない時は、国営でもやるんだと、テレビですでに聞いた。平和憲法の日本だからびっくり。だから研究するなら平和外交の方だろ?なくみんな。(石川)